

## 青学年のこれから 3年3組 多田 光里

この1学期を振り返って心に残った最高の思い出は、修学旅行です。特に2日目のペンションが一番「楽しい!」と感じました。普段、あまり話さない人とも話せたり、盛り上がったりと気が付けば自然に笑顔になっていました。

オーナーさんとのふれあいタイムでは卒業式に届くという自分への手紙を書きました。私は、卒業式の日、この手紙を読んだとき、「がんばろう」と自分を後押しできるような応援メッセージを書きました。

修学旅行の3日間は、本当にあっという間でした。楽しいことはもちろん、学んだことがたくさんありました。クラスの友だちと協力して食器を運んだり、くだらない話で大爆笑したりその一つ一つが忘れられない思い出になりました。

修学旅行が終わって時間が経ち、いつもの学校生活を送っています。私は、このクラスの様子が変わったことに気付きました。皆の表情がいつでも生き生きしていて、何をやっても楽しそうで笑顔あふれる楽しいクラスになりました。そうなれたのは仲間を大切にできる協調性、誰かが困っていたら助けられる思いやりの心をこの修学旅行で学ぶことができたからだと思います。

私たちは今、3年生という受験をひかえる学年でもあります。正直、この先に何があるのかまだ分かりません。たまに「このままで大丈夫かな」と不安な気持ちにかられることがあります。でも今の青学年の雰囲気ならば、立ち足かかる大きな壁も乗り越えていける気がします。入学してまだ間もない頃は「中学校生活」に慣れていなくて調子にのってふざけてしまったり、服装がみだれてしまったりしていました。先生方から注意を受けていた私たちですが「あたりまえの事があたりまえにできる人間になろう」と少しずつ変わっていきました。最高学年になった今言えることは、私たちならきっと夢を叶えることができると信じています。

卒業までの限られた期間、青学年一人一人自分の目標を意識し、夢の実現を目指して進んでいきます。また2学期は、多くの行事をたくさんの思い出と笑顔でいっぱいになりたいです。